IT企業列伝

デュプロ販売

スマートオーダー型の開発推進

デュプロ販売（本社名古屋市中区、田島啓介社長、電話052・321・2020）は、デュプロ（相模原市）が生産したデジタル印刷機や紙折り機などOA機器を販売するデュプログループの地域販社の一つだ。1954年にデュプロ製造名古屋営業所としてスタートし、製販分離に伴い、60年にデュプロ販売を設立した。愛知、岐阜、三重、静岡の東海4県、石川、富山、福井の北陸3県を営業エリアとしている。ただグループ販社6社のうち、唯一デュプロと資本関係を持たず独立経営を維持している。

システム開発に力を入れるデュプロ販売（名古屋市中区）

デュプロ販売はデュプロ製品に加え、99年にIBM製品の販売を開始。ソフトウエアの開発も始めた。原稿や写真などを管理する新聞社向けの統合データベースに加え、生産や販売管理などのシステム開発を手掛けている。

ビジネスモデルの特徴の一つは、スマートオーダー型の開発だ。過去15年間のシステム開発の経験を生かし、汎用性の高いプログラムをモジュール（複合部品）化してきた。受注内容に応じて、既存のプログラムを共用しながら一つのシステムに仕上げる手法だ。同社の幹部は「システム開発全体のうち3～4割をモジュールで賄える」と話す。

もう一つの特徴が「システム診断サービス」。BPデザイナーズ（本社東京）が開発した、診断手法「BEPC（ビジネス・プロセス・エンジニアリング・サイクル）」を採用している。対象企業の従業員にヒアリングシートを配布し、業務で抱える問題点などを抽出。収集したデータを専用のソフトウエアで分析し、調査結果を報告する仕組みだ。

システム診断サービスは、システムの問題点を的確に洗い出せる手法として、業界内で注目を集めている。デュプロ販売の診断実績は現在までに15社。診断サービスをきっかけに、5社からシステム開発の受注につながった。

また、独自の営業スタイルを貫いている。得意先のシステムの受注見通しなどを分析し、提案内容や訪問頻度などの優先順位を明確にした上で効率的な営業活動を徹底している。執行役員システム事業部事業部長の見崎幸夫氏は「顧客の最も近くにいるパートナーを目指す」と力を込める。

＜メモ＞本社＝名古屋市中区大井町4の19▽電話＝052・321・2020▽売上高＝76億6500万円（2014年5月期）▽従業員数＝190人（14年5月21日現在）

若年層取り込みに躍起

離職者増、職人の高齢化も拍車

⑦

枠工を十分に確保できず、着工から完成までの期間が通常より1～2カ月遅れる事態が発生。消費税増税前家の組み立てまでをセンター内で学ぶことができる。

中小の工務店では、慢性的な人手不足から若手の育

2ヵ月ぶり減少

東邦ガス、7月販売量

東邦ガスが20日発表した7月のガス販売量は、前年同月比1・8％減の3億2330万立方㍍と、2カ月ぶりに前年実績を下回った。

家庭用は給湯需要が振るわず2・1％減となった。平均気温が前年より低かち込んだ結果、商業用は7・9％減。公的機関や医療機関向けも4・7％減だった。

販売量全体の約7割を占める工業用は0・4％増とほぼ横ばい。主に自動車産業でガスを使用する設備の稼働率が低下したが、燃料を灯油などから都市ガスに切り替える動きが拡大したため、減少分を補った。

中部―羽田線を設定

全日空の秋冬ダイヤ　国内線大幅値下げも

全日本空輸は20日、10月一の期間を対象に設定した中

鹿児島線で最低運賃を現在よりも約3割安い5700円に設定するなど、大幅な値下げを行う。

新規に開田線は、羽利便性を高を午前7時田に午前8る便と、羽分に出発し、時30分に到した。

運賃設定下げも敢行。予約すると

新時代のコミュニケーションツールにキングアイテムがお応えします！
封筒・名刺のことならデザインから印刷までトータルでおまかせください。
完璧なシステムとノウハウそれがキングコーポレーションです。